

通指導教育等の取り組みができる専門員として計上した。地域別では宮守町が7名、遠野町が2名と人口数からみて差があるため、少ない地域を重点的に補充していきたい。

地区センターのあり方は

地区センターについて、進化まちづくり検証委員会ではどのように審議されているのか。

具体的にはまだ出ていないが、消防分団単位に有ってもよいのではという意見もあったことから、鱒沢、達曾部の地区センター化が可能か検討している状況である。

宮守総合支所の環境が変わるのではと心配されるが、地区センターと総合支所の兼ね合いをどう考えているのか。

宮守総合支所のあり方についても一体として検討している

が、あくまでも住民目線で物事を考え、地域の意見を伺って進めたい。

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊設置事業の内容は、地域協力活動を従事する「地域おこし協力隊員」を委嘱し、地域の活性化を図るもので、労働力不足、農業の担い手不足に対応したい。最終的には、協力隊員の移住、定着を目的としており、期間は最長3年で「旧上郷中学校活用担当」と「農業活性化担当」の2名を予定している。公益社団法人青年海外協力協会（JOC A）に、隊員の募集や、中間的な窓口として農家支援室やセンター等との連携や調整を行うなど、コーディネートを委託する。

地域ごとに求める人材は違う。地域ニーズに沿った人材の募集をするべきでは。

最新の情報への更新が確実となるよう全体的なシステムの再構築が必要であり、即急に取組まなければならぬ課題である。

市内外の方に、子育て支援の取り組みをお知らせする必要があります。と考えると、市内外の方に、子育てするならば遠野推進本部の取り組みを、さらに一歩進める時期であると認識している。

市内外の方に、子育て支援の取り組みをお知らせする必要があります。と考えると、市内外の方に、子育てするならば遠野推進本部の取り組みを、さらに一歩進める時期であると認識している。

地域との組み合わせは重要である。マッチングできるような考えで取り組みたい。

携帯電話等エリア整備事業について

27年度の事業計画はどうなっているか。

遠野市携帯電話等エリア整備事業分担金徴収条例で説明したとおり、国が2/3、市が2/9、通信事業者が1/9を負担し事業実施するものである。今年度は、市の計画に基づき3事業者が附馬牛町大野平地区、小出地区、小友町外山地区の3カ所3エリアの解消を図るため事業化するものである。

今後、県の補助も含めた整備計画の見通しは。

携帯電話が利用できない地区は、1世帯だけの地区も含め12地区が残る。この制度は県の嵩上げ補助も可能な事業であるが、

今年度は、市が2/9、通信事業者が1/9を負担し事業実施するものである。今年度は、市の計画に基づき3事業者が附馬牛町大野平地区、小出地区、小友町外山地区の3カ所3エリアの解消を図るため事業化するものである。

県からの情報では現在のところ考えていないと聞いている。震災以降、安否確認を含め安全安心の確保のためにも事業費の確保に時間がかかることも予想されるが、事業者とも協議しながら、県に対しても嵩上げ等について要望し計画的な整備に努めてまいりたい。

合同金婚式のあり方について

高齢者慶祝事業に合同金婚式は入っているのか。

金婚式は、会費制をとっているのが、会場使用料は、市が共催して、かからないようになっていないか。

年金で暮らしているご夫婦は参加がなかなか大変であるが、どのように捉えているか。

今は実行委員会での開催になっているが、確かに会費が高いので参加者が少ない。

今年度は、市が2/9、通信事業者が1/9を負担し事業実施するものである。今年度は、市の計画に基づき3事業者が附馬牛町大野平地区、小出地区、小友町外山地区の3カ所3エリアの解消を図るため事業化するものである。

なっている。呼びかけは、民生委員や地区センターで広く行っているが、家族の中でお祝いするか、合同でお祝いするか、過渡期でもあるので、実行委員会の中で課題としていきたい。



多くのご夫婦に参加いただけるよう改善が期待される合同金婚式

参加者の自主申告により実施しており、合同が良いのか、地区単位が良いのか、一つの参考としていきたい。

26年の集計では、インフルエンザワクチン接種が118件で50%、ロタウイルスワクチン接種が79件の33%となっており、予防接種が大半を占めているが、病児等保育施設や一時保育での利用もある。

2、3年で使い切ってしまうのではなにかと思うが、3歳児に再配布してはどうか。

3歳児は、就学前の折り返しの節目であり、ぜひ前向きに考えたい。

市のホームページの管理について

市のホームページの中で、農業委員会に関する更新が遅れていると思われるが。

更新の必要に迫られていると認識している。謙虚に反省をし、直ちに最新情報への切り替えに努めている。

今の時代はホームページによる情報の発信が非常に大事であり、有効な手立てでもある。他部署は気が付かなかったのか。

初めには担当部署と一緒にチェックをしていた。遠野市経営改革大綱において「情報公開」は重要な位置づけとして

放射能汚染牧草の再ラップ化について

再ラップ化した汚染牧草の保管場所とその後の対応は。

市の焼却施設が今年度で廃止されるので、焼却しきれずに残る分について、再ラップ化して現在の場所に保管する。5年間ぐらいたんぱく質を、その後協議しながら中部広域行政組合の下での処分を考えている。

現在も今までかかった経費は、東京電力に請求している。汚染牧草の処理が終了するまで請求していく。



汚染牧草の安全かつ早期の処分が求められている

市内何カ所に保管しているのか。

現在は、市内3カ所に保管しており、2カ所は大型のテナント、1カ所は建物を借りて保管している。再ラップ後は、焼却炉が休止した時点で、テナントでの保管を考えている。

酪農振興に対する施策は

酪農家の現状をどのように捉え、27年度予算に反映しているのか。

26年の集計では、インフルエンザワクチン接種が118件で50%、ロタウイルスワクチン接種が79件の33%となっており、予防接種が大半を占めているが、病児等保育施設や一時保育での利用もある。

2、3年で使い切ってしまうのではなにかと思うが、3歳児に再配布してはどうか。

3歳児は、就学前の折り返しの節目であり、ぜひ前向きに考えたい。

実態を把握して、子育て環境の充実

子育て環境の充実

スクールバスの安全対策について

スクールバスにおいて、事故等に備えた訓練の実施状況は。マニュアルは整備されているか。

それぞれの委託業者ごとに訓練している。マニュアルについても業者ごとに用意をし、運転手にいきわたっていると認識しているが、統一されたマニュアルはない。

児童生徒用の避難マニュアルはあるのか。

児童生徒用の避難マニュアルは、これまで無かった。「マナー」「時間を守る」などスクールバスに関することは、学校単位で指導している。今後は、全ての学校に通用するような統一した児童生徒用の避難マニュアルを作成し、避難訓練も実施する。運転手用のマニュアルも同様に考える。見直しを図り、正すべきことは正していく。



子どもたちが、安全に通学できる取り組みが必要